

学長定例記者会見要項

日 時： 令和4年9月8日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 学長特別講演会 ～つなぐちから。山形大学～ を開催します
2. 令和5年度教員採用において「ダイバーシティ枠」公募を18件実施 ～ダイバーシティの実現に向けて～
3. 腎尿細管再生メカニズムの解析から再生を促進する薬剤を発見～ゲノム機能解析を手掛かりとした新たな組織再生促進にヒント～
4. 「ななはく まちの記憶市・ポローニャ市」開催します！
5. 新規開講科目 | 地域デジタルデザイン思考演習～地域社会の協力を基にした課題解決型演習科目の開講～
6. コレミーる アプリを使ってデータで繋がる作物栽培～データシェアを楽しみ、新しい発見につながるアプリ～

お知らせ

1. 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の原寸大模型再展示決定～サハトベに花とのリレー展示を開催～
2. 令和4年度山形大学異分野交流学会を開催します
3. ウクライナから日本への留学を希望する学生を支援します
4. 山形大学文化創生コースの学生による「ごちゃごちゃ展」を開催～授業で制作した作品や自主制作作品など様々な美術作品を展示～
5. 公開講座「旧石器時代の食事・栄養と健康」～旧石器時代の食文化や当時の健康を考える公開講座～

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和4年10月6日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（9月8日）発表

1. 学長特別講演会 ～つなぐちから。山形大学～ を開催します

学 長

たまた ひでとし
玉手 英利

2. 令和5年度教員採用において「ダイバーシティ枠」公募を18件実施 ～ダイバーシティの実現に向けて～

学 長

たまた ひでとし
玉手 英利

3. 腎尿細管再生メカニズムの解析から再生を促進する薬剤を発見～ゲノム機能解析を手掛かりとした新たな組織再生促進にヒント～

学術研究院准教授（医学部主担当）

おち はるき
越智 陽城

4. 「ななはく まちの記憶市・ポローニャ市」開催します！

学術研究院 准教授（学士課程基盤教育機構担当）

さとう こと
佐藤 琴

5. 新規開講科目 | 地域デジタルデザイン思考演習～地域社会の協力を基にした課題解決型演習科目の開講～

学術研究院 准教授（理学部主担当）

おくの たかし
奥野 貴士

6. コレミーる アプリを使ってデータで繋がる作物栽培～データシェアを楽しみ、楽しい発見につながるアプリ～

学術研究院 准教授（理学部主担当）

おくの たかし
奥野 貴士

令和4年（2022年）9月8日

学長特別講演会～つなぐちから。山形大学～を開催します

【本件のポイント】

- 山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信することを目的とした学長主催の特別講演会を開催。
- クレアブ株式会社代表取締役社長 土井正己氏 を講師に迎える。
- 「SDGs」の本来の目的を理解し、どうすれば平和で豊かな社会ができるのか考える。

【概要】

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、学長主催による特別講演会を開催します。さらに、今年度は、山形大学将来ビジョンのキーワードである「つなぐちから。山形大学」をテーマとしております。

本講演会は、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、様々なテーマのもとで、2015年度から開催しているもので、今回は、クリアブ株式会社代表取締役社長 土井正己氏を講師にお迎えします。SDGsの本来の目的や世界の社会課題を理解し、どうすれば平和で豊かな社会ができるかを考えます。

参加費は無料で、対面及びオンライン会議システム Zoom のウェビナーも利用し、開催します。どなたでも受講可能ですので、事前申し込みをお願いします。



【講師プロフィール】

土井 正己 氏

大阪外国語大学（現・大阪大学外国語学部）卒業後、1983年にトヨタ自動車入社。グローバルコミュニケーション室長、広報部担当部長を経て2014年に退社。現在、グローバル・コンサルティング会社であるクリアブ株式会社の日本社長（グローバル上級副社長）及び、山形大学客員教授、特定NPO法人「SDGs・プロミス・ジャパン」（SDGsの生みの親であるジェフリー・サックス教授の関連団体）理事を兼務。

【講演会について】

タイトル：「SDGsを知る。世界の社会課題を知る。イノベーションを知る。世界を変える若者になる」

日 時：令和4年10月3日（月）16:30～18:00

会 場：小白川キャンパス基盤教育2号館221教室 及び オンライン（Zoom ウェビナー）

対 象：学生、教職員、一般

受 講 料：無料

※詳細はホームページをご覧ください。

【申込方法】

下記の申込フォームよりお申し込みください。

(URL) <https://forms.office.com/r/iiaLhfQGS9>

申込締切：9月26日（月）まで

受講申込者には、本講演会参加に必要な情報を、開催日前日までにメールでお知らせします。



お問い合わせ

総務部総務課秘書広報室

TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学長特別講演会 ～つなぐちから。山形大学～



山形大学 学長
玉手 英利
Tamate Hidetoshi

今回の講演会では、SDGsとは何か？を根源から理解するとともに、山形のもつ資源や特性に応じた持続可能な地域社会を構築するために、山形大学と山形に暮らす個々人が、どのようにSDGsをつなぎ、SDGsでつないでいくべきか考え、行動するきっかけとしたいと考えています。

つなぐちから。
山形大学

共育・共創・共生による
持続可能な幸福社会の実現

SDGsを知る。 世界の社会課題を知る。 イノベーションを知る。 世界を変える 若者になる



講師 土井正己 氏

日時 / 2022. **10.3** (月)
16:30～18:00

会場 / **対面** 小白川キャンパス
基盤教育2号館221教室
オンライン ZOOM ウェビナー

- 対象 : 学生、教職員、一般
- 参加費 : 無料
- 申込締切 : 9月26日(月)まで
- お問い合わせ : 【山形大学秘書広報室】
Tel / 023-628-4008 Mail / yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 申込方法 : 申込必須

下記URLもしくは右記QRコードからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/iaLhfQGS9>

受講申込者には、本講演会参加に必要な情報を開催日前日までにメールでお知らせします。



みなさん、SDGsがどのようにして生まれたか、ご存じですか？ その前身は、MDGsと言います。ミレニアム・デベロップメント・ゴールズの略ですね。これは、世界の貧困をなくそうと2000年の国連ミレニアム会議で決めたことから名前ができました。こうしたSDGsの本来の目的を理解し、自分たちがこれから、学生として、そして社会に出た時に何ができるか。すなわち「社会課題」を理解し、どうすれば、平和で豊かな社会ができるかを考えましょう。「社会課題」を理解するというのは、私が勤務したトヨタでも大変重要なテーマでした。「社会」というのは、世界、日本、地域が一直線で繋がっています。それを作るのは、みなさん以外はいません。与えられるものではなく、作るもの、変えるものなのです。さあ、一緒に議論しましょう！

●Profile / 大阪外国語大学(現・大阪大学外国語学部)卒業後、1983年にトヨタ自動車入社。グローバルコミュニケーション室長、広報部担当部長を経て2014年に退社。現在、グローバル・コンサルティング会社であるクレアブ株の日本社長(グローバル上級副社長)、及び、山形大学客員教授、特定NPO法人「SDGs・プロミス・ジャパン」(SDGsの生みの親であるジェフリー・サックス教授の関連団体)理事を兼務。



山形大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

令和4年（2022年）9月8日

令和5年度教員採用において「ダイバーシティ枠」公募を18件実施 ～ ダイバーシティの実現に向けて～

【本件のポイント】

- 2022年4月1日～2026年3月31日までの4年間で、教員に占める女性割合を18.5%以上とする
- 2022年4月1日～2026年3月31日までの4年間で、管理職（課長級以上）に占める女性割合を20%以上とする
- すべての学生と教職員が性別にかかわらず個性と能力とを發揮できる大学づくりを目指す



【概要】

山形大学では、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進するために、令和2（2020）年4月からの10年間の行動計画として、「山形大学男女共同参画基本計画（第2次）」（※1）を策定し、「令和11（2029）年度までに女性教員比率を20%以上にする」という目標を掲げています。また、令和4（2022）年4月に定めた「国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画」（※2）では令和8（2026）年3月までの4年間で「教員に占める女性割合を18.5%以上とする」及び「管理職（課長級以上）に占める女性割合を20%以上とする」ことを目指しています。

令和4年5月現在の女性教員比率は17.91%、女性管理職比率は12.66%にとどまっているのが現状です。このような状況から、令和5年度に採用予定の教員に関して「ダイバーシティ枠」として「女性限定」公募を18名で実施（予定も含む）、「経営人材育成方針」に基づき「学長補佐制度」等により女性を含めた将来の経営を担う人材の戦略的かつ計画的な育成、女性研究者や女性管理職をはじめとする教職員の就労と家庭生活との両立支援のための各種支援制度などの取り組みを進め、すべての学生と教職員が性別にかかわらず個性と能力とを發揮できる大学づくりを推進してまいります。

【教員に占める女性割合・管理職(課長級以上)に占める女性割合】

	教員に占める女性割合	管理職(課長級以上)に占める女性割合
令和2年5月1日現在	15.95%	16.05%
令和4年5月1日現在	17.91%	12.66%

【教員に占める女性割合(部局別)】（令和4年5月1日現在）

部局	割合
人文社会科学部	18.18%
地域教育文化学部・大学院教育実践研究科	26.76%
理学部	12.16%
医学部・大学院医学系研究科・附属病院	23.25%
大学院理工学研究科・大学院有機材料システム研究科	7.19%
農学部	15.63%
学士課程基盤教育機構	33.33%
その他（法人本部等）	16.13%
合計	17.91%

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【参考資料 URL】

※1 山形大学男女共同参画基本計画（第2次）

(<https://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/modules/xelfinder/index.php/view/1094/kihonkeikaku2-2.pdf>)



※2 国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画

(<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/files/7416/4801/6982/2022woman.pdf>)



お問い合わせ

総務部総務課秘書広報室担当

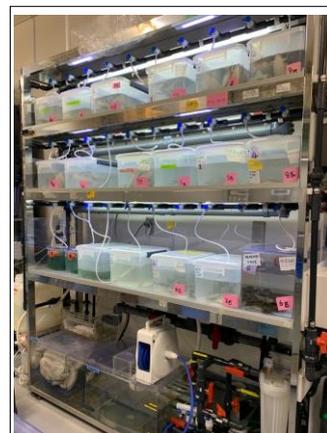
TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年(2022年)9月8日

腎尿細管再生メカニズムの解析から再生を促進する薬剤を発見 ～ ゲノム機能解析を手掛かりとした新たな組織再生促進にヒント～

【本件のポイント】

- 損傷を受けた腎尿細管細胞がどのようにして再生遺伝子を発現させるのかはわかっていなかった。
- 両生類をモデルとしたゲノム機能解析から腎尿細管の再生では、転写因子 KLF15^{用語1}が再生遺伝子を発現させるための鍵であること、KLF15の標的遺伝子としてアドレナリン受容体を発見した。
- 損傷させた両生類の腎尿細管にアドレナリン受容体の作動薬を作用させると、再生が促進されることがわかった。
- 本研究で発見した再生メカニズムに対するヒトの新規薬剤の開発が期待される。



本研究で用いた両生類の飼育システム

【概要】

山形大学医学部の越智陽城准教授と広島大学両生類研究センターの荻野肇教授らの共同研究グループは、両生類をモデルに腎尿細管が再生する仕組みの解明とその再生を促進する薬剤を発見しました。

本研究グループは、腎尿細管再生のメカニズムを探るために、両生類の腎尿細管細胞を使い網羅的オープンクロマチン解析^{用語2}・エピジェネティック修飾^{用語3}のクロマチン免疫沈降シーケンス解析^{用語4}・網羅的発現解析^{用語5}を行いました。すると、損傷後の再生過程でオープンになるクロマチン領域には KLF15 が結合すること、その標的遺伝子の1つアドレナリン受容体の働きを阻害すると再生が起こらないことを発見しました。さらに損傷を与えた腎尿細管にアドレナリン受容体の作動薬を作用させると、再生が促進されることを見出しました。以上の結果は、未解明だった損傷後の腎尿細管が再生に至るまでのメカニズムの一端が明らかになったことに加え、そのメカニズムに作用する薬剤を用いることで再生の促進が可能あることを示すものであり、ヒトにおける再生促進に貢献すると期待されます。本成果は、2022年8月8日に米国の国際学術誌「Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America (Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.) (米国科学アカデミー紀要)」にオンライン掲載されました。

お問い合わせ

山形大学学術研究院准教授(医学部主担当) 越智陽城

TEL 023-628-5925* メール harukiochi@med.id.yamagata-u.ac.jp

【背景】

損傷を受けた組織が再生するとき、再生に働く遺伝子を発現します。これら再生遺伝子の多くは、組織や器官形成で使われた発生制御遺伝子^{用語6}であることが知られています。発生制御遺伝子は、組織や器官が完成すると使う必要がなくクロマチン^{用語7}が閉じられ発現が抑制された状態になります。損傷後に遺伝子を再発現させるためには、まずはクロマチンを開くことが必要ですが、そのメカニズムはわかっていませんでした。ヒトを含む哺乳類の腎尿再開の再生では、尿管上皮細胞のなかに分裂速度の遅い細胞があり、それらが損傷尿管の再生の源であることが知られています。両生類は哺乳類とよく似たシステムを採用しており、尿管上皮細胞が損傷を受けると、残っている尿管上皮細胞の一部を使い再生します。そこで本研究は両生類をモデルに、網羅的オープンクロマチン解析を足掛かりとして、尿管上皮細胞の再生メカニズムの解明を行いました。

【研究手法・研究成果】

両生類胚の尿管上皮細胞の損傷前、再生中、再生が完了した細胞を用いて、網羅的オープンクロマチン解析、エピジ

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

エネティック修飾免疫沈降シーケンス解析、全 RNA 発現解析を行いました。これらデータを統合的に解析し、再生時にクロマチンが開く領域をエンハンサー^{用語8}の候補として、そのエンハンサーの活性化因子の候補として KLF、標的遺伝子の候補としてアドレナリン受容体 (Adra1a) を発見しました。転写因子 KLF は、山中 4 因子の 1 つとして知られていますが、この転写因子ファミリーは活性化因子型、抑制因子型、活性化と抑制の両方の機能を持つ二機能型があります。全 RNA 発現解析から再生中の腎尿再開細胞では、KLF ファミリーのなかでも、klf4、klf6、klf15、sp1、sp4 が発現することがわかりました。そこで次にいずれの KLF が再生特異的なオープンクロマチン領域（エンハンサーの候補）に対する転写活性化能を持つのか調べたところ、Klf6 と Klf15 が活性化因子として働くことがわかりました。次に、再生特異的なオープンクロマチン領域が腎損傷後の再生エンハンサーとして働くのか調べるために両生類のトランスジェニック・レポーター解析^{用語9}を行ったところ、再生特異的なオープンクロマチン領域は腎尿細管の損傷に応答して活性化するエンハンサーであることがわかりました。また、KLF15 の機能を抑制すると腎尿細管の再生が阻害されることもわかりました。KLF15 は沢山の遺伝子の発現を誘導しますが、その 1 つにアドレナリン受容体があります。アドレナリン受容体は KLF15 の制御下で再生遺伝子として働くことが予想されます。そこで、腎尿細管に損傷を与えた両生類胚に対してアドレナリン受容体の阻害剤をさせると、その再生が抑制されることがわかりました。また反対にアドレナリン受容体の作動薬をさせると、腎尿細管の再生が促進されることわかりました。）

【今後の展望】

ヒトを含む哺乳類では、尿細管上皮細胞の一部の細胞が損傷後の再生に寄与することが知られています。両生類も哺乳類とよく似たシステムを採用しており、腎尿細管が損傷を受けると、残っている尿細管上皮細胞の一部を使い再生します。このことはヒトも本研究で発見した再生メカニズムを使っている可能性があります。KLF15-アドレナリン受容体を標的とした医薬シーズ開発を実施することで、ヒトにおける損傷治癒を促進させる技術や医薬品の開発に繋がることが期待されます。

【謝辞】

本研究は、新学術領域研究「3次元構造を再構築する再生原理の解明」(25124704)、日本学術振興会(JSPS) 科学研究費補助金(15K07082 and 22K06233 to H Ochi and 19K06689 and 22K06240 to H. Ogino)、鈴木謙三記念医科学応用研究財団、山形大学先進的研究拠点 (YU-COE)、武田科学振興財団の助成によって行われました。ナショナルバイオリソースプロジェクト ツメガエル・イモリからはゲノム DNA の提供を受けています。ATAC-seq は先進ゲノム支援 (第 1 期) (16H06279 (PAGS))の支援を受けました。

※用語解説

1. [用語 1] 転写因子はエンハンサーなどの DNA 配列に結合するタンパク質で、遺伝子の発現のオン・オフを決定する因子である。KLF15 は山中 4 因子の 1 つ KLF4 も属する Zn フィンガー型転写因子 Kruppel-like factor family of transcription factor (KLF)ファミリーに属する。
2. [用語 2] 網羅的オープンクロマチン解析 (ATAC-seq) はトランスポゼースを使い、クロマチンがオープンになっている領域を次世代シーケンサー (DNA 配列を大量に読み取る装置) で網羅的に解析する技術である。全ゲノムレベルでエンハンサーやプロモーター領域を解析する方法として利用される。
3. [用語 3] エピジェネティック修飾: 後天的にゲノム機能を制御する情報。DNA の塩基配列の変化を伴わず、DNA そのものや DNA が絡みついているヒストンタンパク質の修飾などにより、遺伝子の発現が制御される。
4. [用語 4] クロマチン免疫沈降シーケンス解析 (ChIP-seq 解析) : 目的とするヒストンタンパク質のエピジェネティック修飾に対する抗体を用いてタンパク質を含む断片を濃縮し、DNA の配列を次世代シーケンサーで解析することによりヒストン修飾状態を全ゲノム的に得るエピゲノム解析手法。
5. [用語 5] 網羅的発現解析 (RNA-seq 解析) : 細胞内の全遺伝子発現レベルを次世代シーケンサーで計測する手法。
6. [用語 6] 発生制御遺伝子: 組織や器官の形成に関わる遺伝子。
7. [用語 7] クロマチン: ゲノム DNA とヒストンなどのタンパク質の複合体で、DNA が折りたたまれている。

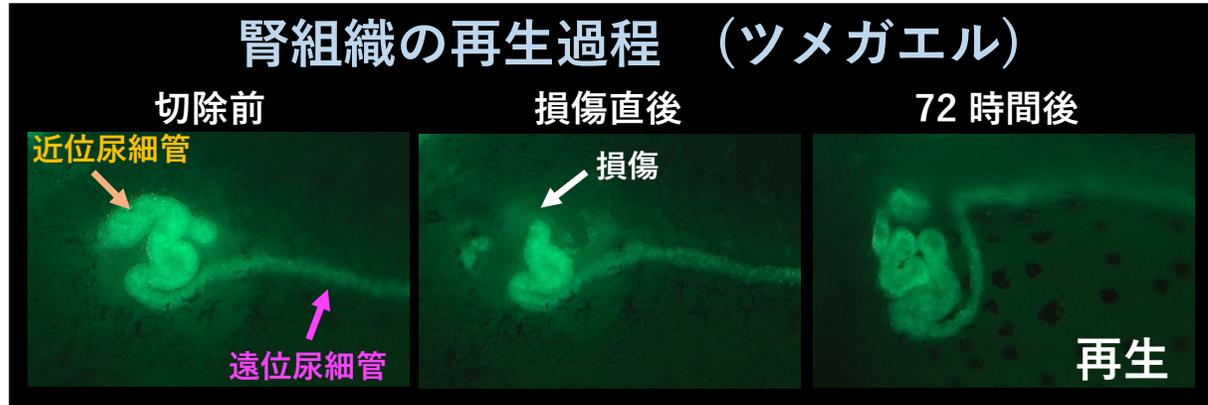
配布先：学長定例記者会見参加報道機関

この構造変化により転写因子の DNA への結合が調整されることで遺伝子発現が制御される。

8. [用語 8] エンハンサー: ゲノムの中には遺伝子の他に、非コード DNA 領域と呼ばれる遺伝子以外の領域が存在する。この非コード DNA 領域はヒトゲノムの 98%を占め、遺伝子の発現をオンにしたり、オフにしたりする領域が存在する。遺伝子の発現をオンにする領域は、エンハンサーと呼ばれる。脊椎動物の間で比べると、遺伝子の総数やその機能は、よく似ていることが知られている。このことから、非コード DNA 領域のエンハンサーなどの働きが、生命の鍵を握ると言われている。
9. [用語 9] トランスジェニック・レポーター解析: ヒトゲノムには約 2 万個の遺伝子が存在すると言われている。一方、それら遺伝子を発現させるためのエンハンサーは、100 万個程度あると予想されている。体の中でのエンハンサーの働きを知るために、エンハンサーと予想されるゲノム領域を green fluorescent protein (GFP) などの蛍光タンパク質遺伝子に連結した人工遺伝子 (レポーターと呼ばれる) を作製し、これを遺伝子改変技術でゲノムに導入する方法がある。これを、トランスジェニック・レポーター解析と言う。



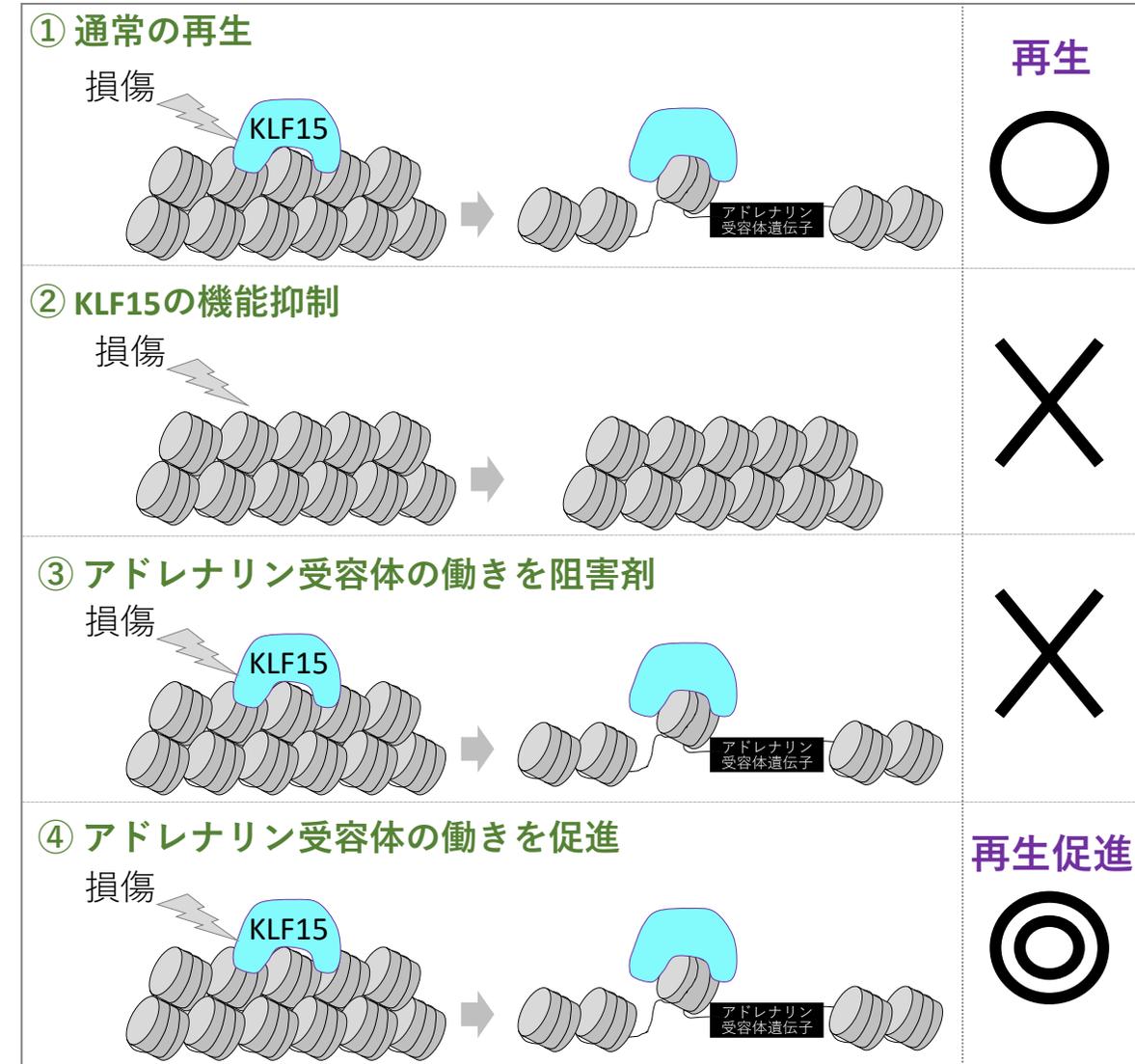
腎尿管再生メカニズムの解析から再生を促進する薬剤を発見 ～ ゲノム機能解析を手掛かりとした新たな組織再生促進にヒント～



ゲノム解析

再生メカニズムの解明

再生を促進する薬剤の発見



令和4年（2022年）9月8日

山形大学附属博物館が山形大生と地域の皆さんとともに集めた「まちの記憶」を一挙公開

「^{いち}ななはく！ ^{いち}まちの記憶市・ポローニャ市」開催します！



2022年3月31日に閉店した十一屋の店舗



山形大生による「まちの記憶を残し隊」活動風景

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館は、2022年から「地域の記憶「共創」アーカイブ」事業をスタートさせました。その成果の公開と、「記憶」のさらなる収集・蓄積をすすめるためのイベントを9月17～19日に七日町で実施します。
- 七日町商店街と山形大学附属博物館は、共働して「まちの記憶」を収集・保存し、みなさんと共有する活動を推進していきます。この活動全体を「^{いち}ななはく」と名付けました。
- 今回は、授業を通じて山形大生が集めた七日町の記憶を展示し、口頭発表をするほか、新発見の山形大火前の七日町の古写真なども公開します（「^{いち}まちの記憶市」）。また、2022年2月10日に開催したキックオフフォーラムに登壇したポローニャ（イタリア）大学博物館の協力を得て、参加者にポローニャグッズを差し上げるスタンプラリーも同時開催します（「^{いち}ポローニャ市」）。
- 9月18日には、本事業をともに推進していくパートナーである合同会社AMANE（石川県能美市山田町口 8）との学術交流協定を締結します。
- 本事業は令和4年度文化芸術振興費補助金Innovate MUSEUM事業地域課題対応支援事業の採択を受けました。

【開催概要】（詳細はチラシをご確認ください・参加無料）

◆展示「2022の七日町」byまちの記憶を残し隊

期 間：9/17（土）13時～18時、9/18（日）10時～18時、9/19（月・祝）10時～17時

第1会場：瑤蔵（山形市本町2-4-26）

第2会場：N-GATE 1階レンタルスペース（山形市七日町1-1-1）

◆報告「2022の七日町」byまちの記憶を残し隊

日 時：9/17（土）13時30分～16時30分

会 場：N-GATE 1階レンタルスペース

◆アーカイブ寄合「誰でもかんたん！山形アーカイブの楽しみ方」（要事前申込み）

日 時：9/18（日）13時30分～16時30分

会 場：N-GATE 1階レンタルスペースからZoomで配信

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

解説者：加藤諭（東北大学史料館）、小川歩美（合同会社AMANE）

※当日、山形大学附属博物館と合同会社AMANEとの学術交流協定の締結を行います

◆まちの記憶を聞く会「七日町と映画館（仮称）」蜂屋孝司氏（七日町の歴史の“生き証人” メガネハチャ店主）

日時：9/19（月・祝）13時30分～16時30分

会場：山形市中央公民館4階大会議室

◆ボローニャ^{いち}市

第1会場の羨蔵、第2会場のN-GATE 1階レンタルスペースをまわって、七日町でイタリアンを食べてスタンプを集めるとボローニャグッズがもらえます。（先着100名様）

引換期間：9/17（土）～25（日）

引換場所：N-GATE 1階 街なか案内所

【9/18 アーカイブ寄合オンライン参加お申込み方法】



QRコードまたはURLからお申込みください。

<https://forms.gle/HB2Xmxa4ADqzL1ur7>

Zoomの接続情報、参加方法等はお申込み後にメールでご案内します。

【主催等】

主催：山形アーカイブ実行委員会

共催：山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館

協力：合同会社AMANE

後援：山形銀行（予定）

助成：令和4年度文化庁Innovate MUSEUM事業

お問い合わせ

学術研究院准教授 佐藤琴（附属博物館）

TEL 023-628-4930 メール koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属博物館と山形大生がまちの皆さんと一緒に
収集保存した「まちの記憶」を一挙公開!

ななはく! 2022^{いち} まちの記憶市

9/17^{SAT} ▶ 19^{MON}

第1会場：瑛蔵 / 山形市本町 2-4-6
第2会場：N-GATE1階レンタルスペース / 山形市七日町 1-1-1

入場・参加無料

絵葉書 雪の山形 寒さ厳しき十二月の七日町十字街 個人蔵

「2022のなのかまち」

●貴重な資料と証言を展示・上映

山形大学の学生で組織した「まちの記憶を残し隊」が収集した、移り変わる七日町の風景やそこで生きる人々の証言を展示・ビデオ上映します。古地図や山形大火前の街並み写真など新発見資料も初公開します。

9/17(土) 13:00~18:00 会場: 第1会場 瑛蔵
9/18(日) 10:00~18:00 第2会場 N-GATE1階レンタルスペース
9/19(祝) 10:00~17:00 (2会場同時開催)

●学生が成果を報告します

実際に七日町の記憶を収集した「まちの記憶を残し隊」の活動報告を行います。山形大生自らがまちの記憶を残すことの意義や展示の見どころを解説します。

9/17(土) 13:30~16:30 会場: N-GATE 1階レンタルスペース

アーカイブ寄合

誰でも簡単! 山形アーカイブの楽しみ方

まちの記憶を保存し、共有できるデジタルアーカイブの価値や楽しみ方を、大沼デパートを事例にアーカイブの専門家が熱く語ります。

解説者: 加藤 諭 (東北大学史料館)
小川歩美 (合同会社AMANE)



9/18(日) 13:30~16:30 お申し込みはこちらから(9月16日まで)
会場: N-GATE 1階 レンタルスペースからオンライン配信

まちの記憶を聞く会 話者: 蜂屋孝司さん 「七日町と映画館(仮称)」

七日町の歴史の“生き証人”メガネハチャ店主の蜂屋孝司さんから、かつて七日町で賑わいを見せた映画館についてお話しいただきます。

聞き手: 成田雄太 (山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー)
山崎 彰 (山形大学人文社会科学部教授)

9/19(祝) 13:30~16:30
会場: 山形市中央公民館4階大会議室

主催: 山形アーカイブ実行委員会 共催: 山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館
協力: 合同会社AMANE 助成: 令和4年度文化庁 InnovateMUSEUM 事業



お問い合わせ: 山形アーカイブ実行委員会 (事務局 山形大学附属博物館) 023-628-4930 (平日 9:00~17:30) yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

絵図 山形市街図 個人蔵

ITALIA
Bologna Fair
Stamp Rally

「ななはく」二つのメイン会場とイタリアン提供の飲食店一店、合計三つのスタンプを集めると先着100名様にもれなくイタリア・ポローニャ直送グッズをプレゼント!

参加飲食店: フラム、タリーズコーヒー、チロル、Classic Café、LiFE
(営業時間、メニューはお店にご確認ください)

STAMP
第1会場
瑛蔵

STAMP
第2会場
N-GATE

STAMP
飲食店

景品引換所: N-GATE 1階 街なか案内所 引き替え期間: 9月17日(土)~25日(日)

山形大学附属博物館が
交流協定を締結している
イタリア^{いち}
ポローニャ市
スタンプラリー

令和4年（2022年）9月8日

新規開講科目 | 地域デジタルデザイン思考演習 ～地域社会の協力を基にした課題解決型演習科目の開講～

【本件のポイント】

- 地域デジタルデザイン思考演習（理学部）を新たに開講します
- 受講生が地域に出て、データ計測と情報への変換の基礎を学びます
- 講義後半には、デザイン思考のアプローチから、地域課題解決のためのデータ計測や解析、試作などの演習を行います
- 得られたデータや情報は次年度に引き継ぎ、講義を通して学生が継続的かつ発展的に地域課題解決に取り組めます



【概要】

理学部後期の講義において、地域デジタルデザイン演習（理学部）を新たに開講します。本講義では、地域社会・環境に関するデータを収集し、情報に変換し、地域社会・環境で起きる現象を把握するデータ処理思考力を養います。さらに、前例のない課題や未知の課題に対してデザイン思考からアプローチし、具体的な地域課題解決の糸口を演習形式で探り提案できることを目標としています。

本講義の前半では、受講生が新庄市、蔵王、上山市を訪れ、データ計測方法の基礎を学びます。後半には、地域のキーパーソンから地域課題を学び、デザイン思考のアプローチから、地域課題の解決に向けたデータ計測や調査、システム試作などの演習を行います。

本講義の特徴は、得られたデータや調査結果を次年度に引き継ぎ、継続的かつ発展的に地域課題の解決に対して学生が向き合えることにあります。

【背景】

理学部の研究・教育の特徴の一つは、自然科学の理解を深めることにあります。学生は、研究対象を理解するために、様々な角度から眺めます。「眺める」とは、計測、調査です。理学部で学ぶこの思考力は、卒業後、一般社会で役に立ちます。すぐに役立つか、歳をとってから役立つかはわかりません。在学期間に学生が、「自分の専門が社会に役立つこと」、逆に、「専門だけでは足りないこと」を知ることが、学習意欲を高めるためにとても大切に思います。そのために、地域社会の皆様のご協力を仰ぎながら、学生を育む講義を設けることにしました。また、「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」（文部科学省）において特定分野校（理工農学）への選定を受け、専門分野における数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実践できることとなりました。

【講義内容】

第1部 データ計測と情報処理の基礎を学ぶ（講義）

第2部 データ収集方法を学ぶ（フィールドスタディー）
新庄市 | GIS データ | 脇克志（理学部）
蔵王山 | 森林画像データ | Lopez Larry（農学部）
上山市 | 園地環境データ | 奥野貴士（理学部）

第3部 地域課題を学ぶ（パネルディスカッション）

本年度のテーマ 「移住」「地域の産業」などを予定。地域のキーパーソンをお招きし、地域課題の現状、本質をお伺いし、データ計測・調査へのアプローチを考える

第4部 デザイン思考に基づき地域課題の解決の糸口を探る（グループ演習）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

学術研究院准教授 奥野貴士（生物物理学）/理学部主担当

TEL 023-628-4580 メール okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）9月8日

コレミール アプリを使ってデータで繋がる作物栽培 ～データシェアを楽しみ、新しい発見に繋がるアプリ～

【本件のポイント】

- 生産者が栽培管理に関するデータをシェアできるアプリ「コレミール」を共同開発し、リリース（無料）しました
- 誰でも簡単にグループを作り、メンバーが入力した計測数値をリアルタイムにグラフで共有できます
- グラフの単位を任意に設定できるため、農作物の栽培管理や探究型学習など幅広く利用できます



【概要】

自分でデータを計測し、新しいことを発見する喜びも大きいですが、計測データをシェアする喜びやシェアすることで新たな発見も生まれます。産地の農作物栽培においても、生産者同士がデータをシェアすることで、新しい繋がりや、発見が生まれると思います。今回、生産者が栽培管理に関するデータをシェアできるアプリ（コレミール）を共同開発しました。さらに、計測したデータを共有する喜びや共有することで生まれる新しい発見を体験できる教育プログラム（トマト栽培選手権）を、山形県上山市の小学生と一緒に実践しました。

【背景】

山形の農業の特徴の一つは、複雑な地形やそれぞれの風土に合わせ、作物栽培の方法や品種を工夫し、地域の農業文化が育まれてきました。この多様な農業文化により、我々の食卓には多彩な果物や野菜に溢れます。また、多様性は災害や病害虫に対応できる強い産地作りにも大切です。近未来の産地では、これまでよりも少ない生産者で効率的に良いモノづくりをできる新しい仕組みが必要です。また、10年後に農業を営む今の子供たちへの教育も必要です。組織（組合、グループ）を超えて、栽培管理に関するデータや情報をシェアすることで、より少ない人数でもモノが作りやすくなるのではないのでしょうか。また、データをシェアする楽しさやそこで生まれる新しい発見を、今の子供達に知ってもらうための、教育プログラムが必要です。

そこで、山形大学学術研究院准教授（理学部主担当）奥野貴士と（株）フェイバーエンジニアリングと上山市農林夢づくり課が協力して、栽培管理（例えば西洋梨の収穫適期）に関するデータをグループ内で簡単にシェアできる無料アプリ コレミールを開発しました。



【参加者が果実調査する様子】

【アプリの利用例】

- （栽培管理）リーガルレッドコミスの収穫適期の判断のための果実調査への利用
- （教育プログラム）トマトの成長データを共有するトマト栽培選手権

【アプリについて】

使用環境：iOS, Android, PC (web ブラウザー)。アプリは App Store または GooglePlay から入手できます。Web ブラウザーをご利用の場合：<http://karuhoku.com/koremiru/> *データ閲覧にはPC環境を推奨します。

*本アプリ開発において、Toyota財団 国内助成プログラムおよび2022年度キャンパス長裁量経費より支援いただきました。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

学術研究院准教授 奥野貴士（生物物理学）/理学部主担当

TEL 023-628-4580 メール okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年(2022年)9月8日

山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の原寸大模型再展示決定 ～サハトベに花とのリレー展示を開催～

2019年に山形大学に招いた「はやぶさ」の原寸大模型たちが戻ってきます。NPO法人小さな天文学者の会との共催により、NPO法人ギガスターが作成した「はやぶさ」「はやぶさ2」を9月17日(土)～19日(月・祝)の3日間に渡って一般公開します。さらに、9月21日～27日は河北町のサハトベに花にて県内リレー展示が行われます。

【開催概要】

開催日：2022年9月17日(土)～19日(月・祝)

※サハトベに花では9月21日(火)～27日(火)

時間：10:00～17:00(5部制・最大90分の入替制・100名定員/1部)

場所：山形大学 小白川キャンパス 体育館

申込み：山形大学開催分は右QRコードより申込(期間：8月22日(月)～9月19日)

サハトベに花開催分は電話(0237-72-6555)・メール(sahato@ic-net.or.jp)

・館内窓口にて予約受付

観覧費：無料

主催：地域共創STEAM教育推進センター

共催：NPO法人小さな天文学者の会、河北町総合交流センター サハトベに花、NPO法人ギガスター

詳細：別紙にてご確認ください。

山形大学申込



2. 令和4年度山形大学異分野交流学会を開催します

あらゆるプレイヤーが、分野を超えて共創するための場として、山形大学異分野交流学会を開催します。

異分野交流学会は、今年度初めて開催するもので、本学の先進的研究拠点であるYU-COEの研究紹介と、幅広い分野にわたる連携を目指す方々が集うポスターセッションを行います。多くの方の連携に向けた議論へのご参加をお待ちしております

【開催要項】

日時：2022年9月29日(木) 13:00～17:00

会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館2階(山形市小白川町1-4-12)

参加費：無料

対象：教職員、学生、企業、行政、市民等どなたでもご参加いただけます。

申し込み：以下よりお申込みください(申込締切：9月27日(火))

<https://forms.office.com/r/PSDZnWyCeg>



3. ウクライナから日本への留学を希望する学生を支援します

山形大学では、このたびのロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、同国における教育・研究活動の中断を余儀なくされているウクライナ国籍を有する学生等を、科目等履修生として一年間受け入れ、学びや研究の機会を提供することとし、以下のとおり支援を行うこととしました。9月末日まで応募を受付けています。

1 支援の対象

ロシアによるウクライナへの武力侵攻により、学びや研究の機会が損なわれたウクライナの大学に在籍している学部生または大学院学生

2 受け入れ支援

・交換留学生と同様の身分で受け入れます。

・受入人数：2名

・受入期間：2023年4月～2024年3月

3 学費支援

・検定料、入学料、授業料を全額免除

4 宿舎提供

- ・国際交流会館を無償で提供

5 生活支援

- ・支援金：月額 70,000 円

6 その他の支援

- ・渡航費用：旅費実費負担（上限 300,000 円）
- ・準備費用：100,000 円

7 詳細について

次の本学 HP でご確認ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/step-yu-ukr/>

4. 山形大学文化創生コースの学生による「ごちゃごちゃ展」を開催

～授業で制作した作品や自主制作作品など様々な美術作品を展示～

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コースの美術系研究室に所属する 4 年生 9 名が、山形県芸文美術館で美術作品展「ごちゃごちゃ展」を開催します。本展覧会では、1 年次から 3 年次の間に授業で制作した課題作品群や、現在進めている卒業研究制作を含む様々な自主制作作品群を展示します。

【ごちゃごちゃ展 開催情報】

日 時：2022 年 9 月 16 日(金)～9 月 20 日(火) 10：00～17：00(最終日のみ 15：00 まで)

場 所：アズ七日町 2 階 山形県芸文美術館 ギャラリー3

5. 公開講座「旧石器時代の食事・栄養と健康」～旧石器時代の食文化や当時の健康を考える公開講座～

約 1 万年前まで続いた、人類の歴史の大部分を占める旧石器時代。食糧を求め、広大な土地を移動しながら暮らした狩猟・採集の時代です。この時代の食事は実はよく分かっていません。特に日本の旧石器時代の遺跡からは動植物の遺体がほとんど見つかりません。世界的にも動物食と植物食の割合、水産資源の利用の度合いなどがよく分かっていません。ではどやって旧石器時代の食事を復元したらよいのか？ また、旧石器時代の食文化は人々の健康にどう影響したのでしょうか？ こうした問題を、本公開講座では一緒に考えていこうと思います。

【開催要項】

日 時：2022 年 10 月 22 日 (土) 13:00～16:00

会 場：山形大学小白川キャンパス人文社会科学部 1 号館 103 教室 およびオンライン
(Zoom ウェビナー)

受講料：500 円 ※学生 (高校生以上) は無料

対 象：一般・学生 (高校生以上)

定 員：対面：60 名 ・オンライン：90 名

申し込み：下記のホームページよりお申込みください (申込締切：10 月 17 日 (月))

<https://www.y-ex.jp/extension/post-36.html>

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、申込締切が迫っているイベント

◎ 公開講座「3D計測入門講座」～3D計測技術の習得や、3Dの活用方法を考える体験型講座～

近年、進展が目覚ましく、利用も多岐にわたる三次元計測技術。演習を通して、3D 計測技術の習得を目指す公開講座を開催します。

【開催要項】

日 時 / 9 月 24 日 (土) 10:00～16:00

会 場 / 山形大学小白川キャンパス基盤教育 1 号館 111 教室

受講料 / 2,000 円 ※支払い手数料 (275 円) 込み ※学生 (大学生・大学院生・専門学校生) は無料

対 象 / 一般・大学生・大学院生

定 員 / 21 名

申し込み / 下記のホームページよりお申込みください (申込締切：9 月 15 日 (木))

<https://www.y-ex.jp/extension/post-32.html>

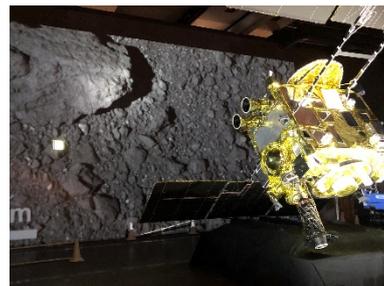
PRESS RELEASE

令和4年(2022年)9月8日

小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の原寸大模型再展示 ～サハトベに花とのリレー展示を開催～

【本件のポイント】

- 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の実寸大模型を再び山形大学へ招へい。
- 河北町総合交流センター サハトベに花の協力により、山形県内で10日間に渡るリレー展示を実現
- 一般公開では展示物を楽しく分かりやすく解説するとともに、今回のためだけに作成したオリジナルステッカーを来場者全員へプレゼント！



【概要】

世界で初めて小惑星イトカワからその表面物質(サンプル)を持ち帰ることに成功した小惑星探査機「はやぶさ」。その後継機として打ち上げられ、小惑星リュウグウのサンプルが入ったカプセルを2021年12月に地球へ持ち帰った「はやぶさ2」。太陽系の進化の歴史や生命の原材料物質の期限を解明するために、サンプル分析とその結果が少しずつ報道され始めています。「はやぶさ2」は、現在も別の小惑星を目指して飛行を続け、拡張ミッションに挑戦中です。

この秋、2019年に山形大学に招いた「はやぶさ」の原寸大模型たちが戻ってきます。NPO法人小さな天文学者の会との共催により、NPO法人ギガスターが作成した「はやぶさ」「はやぶさ2」を前回の展示日数よりも長い9月17日(土)～19日(月・祝)の3日間に渡って一般公開します。さらに、9月21日～27日は河北町のサハトベに花にて県内リレー展示が行われます。

両会場では、衛星機体と関連機器等の模型、展示、およびスタッフによる展示の解説を行います。山形大学会場では、中森健之教授(宇宙物理学)や小さな天文学者の会のスタッフ、そしてはやぶさ2ミッションチームメンバーである千葉工業大学惑星探査研究センター・千秋博紀主席研究員が解説を行います。サハトベに花会場では小さな天文学者の会、ギガスターのスタッフが解説を行います。さらに、両会場とも、来場者全員に今回のためだけに作成したオリジナルステッカーをプレゼントします。地域の皆様のご来場を心よりお待ちしております！

【開催概要】

- 開催日：2022年9月17日(土)～19日(月・祝)
※サハトベに花では9月21日(火)～27日(火)
- 時間：10:00～17:00(5部制・最大90分の入替制・100名定員/1部)
- 場所：山形大学 小白川キャンパス 体育館
- 申込み：山形大学開催分は右QRコードより申込(期間：8月22日(月)～9月19日)
サハトベに花開催分は電話(0237-72-6555)・メール(sahato@ic-net.or.jp)・館内窓口にて予約受付
- 観覧費：無料
- 主催：地域共創STEAM教育推進センター
- 共催：NPO法人小さな天文学者の会、河北町総合交流センター サハトベに花、NPO法人ギガスター
- 詳細：YU★STEAM HP(下記QRコード)よりご確認ください。

山形大学申込



お問い合わせ
地域共創STEAM教育推進センター(YU★STEAM)
TEL 023-628-4506(SCITAセンター内)

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

■ご注意：新型コロナウイルス感染症拡大によって、時間による人数制限の設定、事前申し込み、中止の可能性もございます。なお、変更などについてはセンターHP 等にて発表してまいります。

メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

センターHP



令和4年（2022年）9月8日

令和4年度山形大学異分野交流学会を開催します

【本件のポイント】

- 社会の多様なプレイヤーが、分野を超えて共創するための場として、山形大学異分野交流学会を開催します。
- 異分野交流学会は、今年度初めて開催するもので、本学の先進的研究拠点であるYU-COEの研究紹介と、幅広い分野にわたる連携を目指す方々が集うポスターセッションを行います。
- 多くの方の連携に向けた議論へのご参加をお待ちしております。

【概要】



現在、気候変動、食料・エネルギーなどの資源問題をはじめとする様々な地球規模の課題・社会問題が顕在化しており、これらを解決するレジリエントで安全・安心な社会の構築は欠かせません。ここに大学が貢献するには、人間や社会を総合的に理解しながら、課題解決へと向かうべく、分野を超えた「総合知」を創り上げ、活用していく必要があります。

山形大学は、約900人の多様な教員が活躍する総合大学です。あらゆる垣根を越えて、人と人、異なる知と知を“つなぐちから”を発揮し、多様な人々が出会い活躍する「イノベーション・コモンズ」として、山形大学は新たな知を提供していきます。

その分野を超えて共創するための場として、山形大学異分野交流学会を開催します。ここでは、本学の先進的研究拠点であるYU-COEの研究紹介と、幅広い分野にわたる連携を目指す方々が集うポスターセッションを行います。多くの方の連携に向けた議論へのご参加をお待ちしております。

【開催要項】

日 時 / 2022年9月29日（木）13：00～17：30
 会 場 / 山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館2階（山形市小白川町1－4－12）
 参加費 / 無料
 対 象 / 教職員、学生、企業、行政、市民等どなたでもご参加いただけます。
 申し込み / 以下よりお申込みください（申込締切：9月28日（水））

<https://forms.office.com/r/PSDZnWyCeg>



本件に関するお問い合わせ
 山形大学異分野交流学会 実行委員会 事務局（担当：研究部 内藤）
 TEL:023-628-4846
 E-mail:yu-k-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

集え、総合知！

令和4年度 山形大学異分野交流学会

日時 2022年9月29日(木)13:00～17:30

会場 山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館2階（山形市小白川町1-4-12）

※駐車場には限りがあるため、公共交通機関でお越しください。

現在、気候変動、食料・エネルギーなどの資源問題をはじめとする様々な地球規模の課題・社会問題が顕在化しており、これらを解決するレジリエントで安全・安心な社会の構築は欠かせません。ここに大学が貢献するには、人間や社会を総合的に理解しながら、課題解決へと向かうべく、分野を超えた「総合知」を創り上げ、活用していく必要があります。

山形大学は、約900人の多様な教員が活躍する総合大学です。あらゆる垣根を越えて、人と人、異なる知と知を“つなぐちから”を発揮し、多様な人々が出会い活躍する「イノベーション・commons」として、山形大学は新たな知を提供していきます。

その分野を超えて共創するための場として、山形大学異分野交流学会を開催します。ここでは、本学の先進的研究拠点であるYU-COEの研究紹介と、幅広い分野にわたる連携を目指す方々が集うポスターセッションを行います。多くの方の連携に向けた議論へのご参加をお待ちしております。

山形大学異分野交流学会実行委員会

スケジュール

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 13:00-13:05 | 開会あいさつ | 玉手 英利 学長 |
| 13:05-15:30 | YU-COE(S)研究発表 | 各拠点リーダー |
| 15:30-17:00 | ポスターセッション | |
- ※学内研究者向けに研究費申請、産学・地域連携、研究支援制度等の相談ブースを設置します。
- 17:15-17:30 授賞式

参加申込みフォーム

参加費 **無料**

対象 教職員、学生、企業、行政、市民等どなたでもご参加いただけます。



<https://forms.office.com/r/PSDZnWyCeg>

問い合わせ先

山形大学異分野交流学会 実行委員会 事務局（担当:研究部 内藤）
TEL:023-628-4846 E-mail: yu-k-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



YU-COE(S)研究発表

発表時間		YU-COE(S)研究拠点	担当当学部	発表者
13:05	- 13:25	分子疫学研究拠点	医学部	今田 恒夫
13:25	- 13:45	山形大学創薬研究拠点	医学部	山口 浩明
13:45	- 14:05	有機エレクトロニクス研究拠点	工学部	佐野 健志
14:05	- 14:25	ソフトマテリアル創製研究拠点	工学部	伊藤 浩志
14:25	- 14:30	休憩		
14:30	- 14:50	SDGsに貢献する食・農・環境研究拠点	農学部	渡部 徹
14:50	- 15:10	総合スピン科学研究拠点	理学部	岩田 高広
15:10	- 15:30	山形大学ナスカ研究所	人文社会科学部	坂井 正人

ポスターセッション（コアタイム 1部 15:30-16:15, 2部 16:15-17:00）

No	部	担当当学部	発表者	演題	キーワード
1	1部	人文社会科学部	小林 正法	オンライン心理実験・調査の活用	オンライン, 心理, 実験, 調査
2	2部	人文社会科学部	大杉 尚之	SOSの出し方, 受け止め方教育の推進	SOSの出し方, SOSの受け止め方, 自殺対策, 心理的安全性, 精神的健康
3	1部	人文社会科学部	溜川 健一	地域の移動を考慮したマクロ経済モデルの構築	GDP, 地域間移動, マクロ経済モデル
4	2部	地域教育文化学部	小酒井 貴晴	神経性食欲不振症モデルマウスにおける採食行動と自発運動に及ぼす腸管発酵の影響	自発運動, 腸管発酵, 高次脳機能, 脳腸相関, 腸管共生
5	1部	地域教育文化学部	小酒井 貴晴	大腸はバラの香りを感じて生理機能を発揮する	消化管, 香氣成分, 腸内神経叢, 健康機能性
6	2部	地域教育文化学部	中山 祐貴	議論事例理解支援のためのソーシャルメディア中の議論様態の視覚化	議論遂行能力育成, 議論様態, 話題分布, ソーシャルメディア, 情報視覚化
7	1部	地域教育文化学部	本島 優子 伊藤 朋子	親子で「触れ合う」ことの生理学的効果	親子, 接触 (touch), 心拍, 鎮静効果
8	2部	理学部	奥野 貴士	産地の生産者をつなげるサービスの協働開発	コミュニティインフラ整備, 地域農業文化, 次世代育成
9	1部	理学部	天羽 優子	THz領域以下における赤外・ラマン相補性の破れについて	低振動数ラマン散乱, 誘電緩和
10	2部	理学部	金尾 太輔	特殊な環境に生息する節足動物の多様性	分類, 進化, 好白蟻性, 地表性節足動物, 酸性温泉
11	1部	理学部	蔵王樹氷火山総合研究所 代表 伴 雅雄	蔵王樹氷火山総合研究所: 分野横断研究に向けて	蔵王, 樹氷, 火山, 分野横断, 環境, 汚染, 防災, 地域貢献
12	2部	理学部	河合 寿子	脂質修飾タンパク質による光化学系II酸素発生クラスターの安定化機構	光合成, 植物, 酸素発生, マンガンクラスター, 蛋白質構造
13	1部	理学部	中森 健之	単光子計数によるシームレスな高速測光センサの開発	天体観測, 半導体センサ, 光子計数
14	2部	理学部	松井 淳	刺激応答・高配向性高分子薄膜	水応答, 自己組織化, 膜分離
15	1部	理学部	渡邊 康紀	生体膜の材料をつくるタンパク質の構造生物学	タンパク質, 立体構造解析, リン脂質, 創薬
16	2部	理学部	田村 康	オルガネラコンタクト研究と創薬	ミトコンドリア, オルガネラコンタクト, 創薬
17	1部	理学部	富樫 貴成	液相ALD法による自在なナノ結晶合成	ナノ結晶, 分散・集積, 無溶媒合成
18	2部	医学部	早坂 達哉	顔画像を用いた深層学習による気管挿管困難分類AIモデルの作製	AI, 気管挿管困難, 画像解析
19	1部	工学部	硯里 善幸	印刷で作製できるガラス並みのハイバリア	ウェットプロセス, パリア, フレキシブルデバイス, 印刷
20	2部	工学部	高橋 辰宏	独自の「くっつける」高分子技術で課題解決します! 新機能だします!	くっつける, 接着, 表面, 界面, 機能
21	1部	工学部	戸森 央貴	空気圧ゴム人工筋肉駆動のアシストスーツの開発	人工筋肉, アシストスーツ, 空気圧, 複合材料, ゴム, 繊維, 筋電位
22	2部	工学部	松葉 豪	放射光X線及び種々の分光法を用いた食品材料の解析	食品, 放射光X線, FT-IR, ラマン分光
23	1部	工学部	佐藤 大介	神経系を介したインスリン非依存的血糖制御の可能性	血糖値, インスリン, 交感神経
24	2部	工学部	長峯 邦明	スマートデジタルヘルスセンシング技術の研究開発	医療, ヘルスケア, 農業, センサ
25	1部	工学部	熊木 大介	シート型バイタルセンサによる非拘束センシングと医療応用の検討	有機エレクトロニクス, バイタルセンサ, 医療応用
26	2部	農学部	宮城 敦子	疾患予防およびバイオマス利活用に向けたメタボローム育種研究	メタボローム解析, CE-MS, 成分育種, シュウ酸, 尿路結石, ミネラル不足
27	1部	農学部	叶 奈緒美	食品中の非栄養成分による健康維持機能に関する研究	食品成分, がん予防, 炎症抑制, 抗酸化能, 細胞イメージング, 成分分析
28	2部	農学部	渋谷 知暉	ブドウの品種改良におけるゲノム編集の活用	果樹, ブドウ, 品種改良, 遺伝子機能
29	1部	農学部	星野 友紀	おいしさの創造に向けたエダマメ食味関連形質の分子遺伝学的解剖	遺伝子, エダマメ, おいしさ
30	2部	農学部	佐藤 智	ヤマダイミズアブ プロジェクト	アメリカミズアブ, 食品残渣処理&資源化暮らしと生態系&生物多様性保全

令和4年（2022年）9月8日

ウクライナから日本への留学を希望する学生を支援します

【本件のポイント】

- ウクライナの危機的状況に鑑み、2023年にウクライナから日本への留学を希望する学生を支援するもの

【概要】

山形大学では、このたびのロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、同国における教育・研究活動の中断を余儀なくされているウクライナ国籍を有する学生等を、科目等履修生として一年間受け入れ、学びや研究の機会を提供することとし、以下のとおり支援を行うこととしました。

9月末日まで応募を受付けています。



1 支援の対象

ロシアによるウクライナへの武力侵攻により、学びや研究の機会が損なわれたウクライナの大学に在籍している学部生または大学院学生

2 受け入れ支援

- ・交換留学生と同様の身分で受け入れます。
- ・受入人数：2名
- ・受入期間：2023年4月～2024年3月

3 学費支援

- ・検定料、入学料、授業料を全額免除

4 宿舍提供

- ・国際交流会館を無償で提供

5 生活支援

- ・支援金：月額 70,000 円

6 その他の支援

- ・渡航費用：旅費実費負担（上限 300,000 円）
- ・準備費用：100,000 円

7 詳細について

次の本学 HP でご確認ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/step-yu-ukr/>

お問い合わせ

エンロールメント・マネジメント部国際交流課 今野

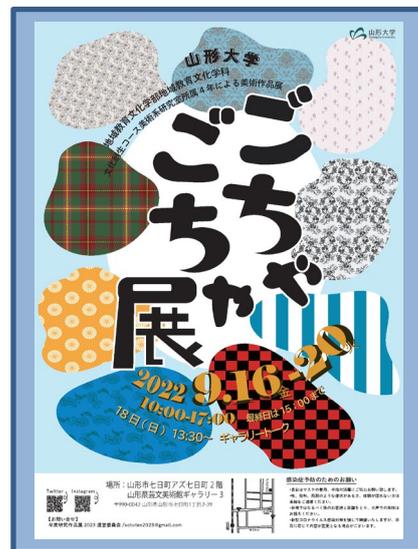
TEL 023-628-4118 メール yu-rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年(2022年)9月8日

山形大学文化創生コースの学生による「ごちゃごちゃ展」を開催 ～授業で制作した作品や自主制作作品など様々な美術作品を展示～

【本件のポイント】

- 山形大学文化創生コースの美術系研究室に所属する4年生9名による美術作品展を開催
- 3年次までの授業で制作した作品や自主制作作品など、授業を通して学んできたことやメンバーの個性が伝わる作品を展示予定
- ポスターは、2023年2月1日から開催予定の卒業研究作品展2023でメンバーそれぞれのイメージカラーとして使用する模様を組み込んでおり、斎藤文香さん(地域教育文化学部4年生)が制作。



【概要】

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コースの美術系研究室に所属する4年生9名が、山形県芸文美術館で美術作品展「ごちゃごちゃ展」を開催します。ポスターデザインは斎藤文香さん(地域教育文化学部4年生)が担当し、来年2月1日から開催予定の卒業研究作品展2023でそれぞれのメンバーをイメージした模様をデザインに組み込んでいます。

本展覧会では、1年次から3年次の間に授業で制作した課題作品群や、現在進めている卒業研究制作を含む様々な自主制作作品群を展示します。私たちが授業での制作を通して学んできたことや、それをどのように自主制作に生かしているのかを、作品や言葉で伝えたいと考えています。同じ授業を受けて制作した課題作品群と、学びと個性を最大限に表現した自主制作作品群を1つの空間で展示し、私たちの学びと成長の過程を感じ取っていただける展覧会を目指しています。9月18日には、出展者が作品について制作意図を語るギャラリートークを開催予定です。私たちの個性溢れる「ごちゃごちゃ展」にぜひ足をお運びください。

【ごちゃごちゃ展 開催情報】

日時：2022年9月16日(金)～9月20日(火)

10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)

場所：アズ七日町 2階 山形県芸文美術館 ギャラリー3

Twitter：@yamadai_sotuten

Instagram：@yamadai_sotuten

入場無料となっております。アズ七日町地下駐車場(有料)がございます。

お問い合わせ

地域教育文化学部 文化創生コース 小林研究室・土井研究室・具志堅研究室
メール sotuten2023@gmail.com

山形大学

地域教育文化学部地域教育文化学科
文化創生コース美術系研究室所属 4年による美術作品展

まちが 表

2022 9.16 金

10:00-17:00

最終日は 15:00まで

18日(日)

13:30~ ギャラリートーク

Twitter



Instagram

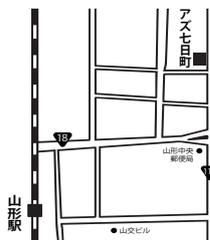


【お問い合わせ】

卒業研究作品展 2023 運営委員会 /sotuten2023@gmail.com

場所：山形市七日町アズ七日町 2階
山形県芸文美術館ギャラリー 3

〒990-0042 山形県山形市七日町1丁目2-39



感染症予防のためのお願い

- ・当日はマスクの着用、手指の消毒にご協力お願い致します。
- ・咳、発熱、風邪のような症状がある方、体調が優れない方は来館をご遠慮ください。
- ・会場ではなるべく他のお客様と距離をとり、大声での発話はお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染対策を講じて開催いたしますが、状況に応じて内容が変更となる場合がございます。

令和4年（2022年）9月8日

公開講座「旧石器時代の食事・栄養と健康」 ～旧石器時代の食文化や当時の健康を考える公開講座～

【本件のポイント】

- 未だ実情が不明である旧石器時代（約250万年前～1万年前）の食文化がテーマ。
- 狩猟、採集の移住生活がどのように行われていたのか、動物食、植物食、水産資源などがどのような割合で食されていたのか、旧石器時代の食事をどうやって復元したらよいかなどについて考える。
- 山田しょうさん（株式会社パレオ・ラボ）が講師を務め、進行を白石哲也准教授（本学学士課程基盤教育機構担当）と中村賢太郎さん（株式会社パレオ・ラボ）の2名が担当する。



【概要】

約1万年前まで続いた、人類の歴史の大部分を占める旧石器時代。食糧を求め、広大な土地を移動しながら暮らした狩猟・採集の時代です。この時代の食事は実はよく分かっていません。特に日本の旧石器時代の遺跡からは動植物の遺体がほとんど見つかりません。世界的にも動物食と植物食の割合、水産資源の利用の度合いなどがよく分かっていません。ではどうやって旧石器時代の食事を復元したらよいのか？ また、旧石器時代の食文化は人々の健康にどう影響したのでしょうか？ こうした問題を一緒に考えていこうと思います。

【開催要項】

日時 / 10月22日（土）13:00～16:00
会場 / 山形大学小白川キャンパス人文社会科学部1号館103教室 およびオンライン（Zoomウェビナー）
受講料 / 500円 ※学生（高校生以上）は無料
対象 / 一般・学生（高校生以上）
定員 / 対面：60名・オンライン：90名
申し込み / 下記のホームページよりお申込みください（申込締切：10月17日（月））
<https://www.y-ex.jp/extension/post-36.html>

講座の内容に関するお問い合わせ

しろいしてつや
学術研究院 准教授 白石 哲也（考古学/学士課程基盤教育機構担当）

TEL 023-628-4164 メール tshiroishi@cc.yamagata-u.ac.jp

令和4年度山形大学公開講座

旧石器時代の食事 ・栄養と健康

講師：山田 しょう
(株式会社パレオ・ラボ アドバイザー)

司会：白石 哲也(山形大学学術研究院)
中村賢太郎(株式会社パレオ・ラボ)

旧石器時代の食事がテーマ！ 約1万年前まで続いた、人類の歴史の大部分を占める旧石器時代。食糧を求め、広大な土地を移動しながら暮らした狩猟・採集の時代です。この時代の食事は実はよく分かっていません。特に日本の旧石器時代の遺跡からは動植物の遺体がほとんど見つかりません。世界的にも動物食と植物食の割合、水産資源の利用の度合いなどがよく分かっていません。ではどやって旧石器時代の食事を復元したらよいのか？ また食事は健康の素。人々の健康にどう影響したのでしょうか？ こうした問題を一緒に考えていこうと思います。

■日時 2022年10月22日(土)
13:00~16:00

■場所 山形大学小白川キャンパス
人文社会科学部1号館103教室

■開催方法 対面およびオンライン
(見逃し配信あり)

■受講対象 一般・学生(高校生以上)

■募集人数 対面 60人
オンライン 90人

■受講料 一般 500円
学生(高校生以上) 無料

■申込み 下記のホームページまたはQRコードよりお申込みください
(<https://www.y-ex.jp/extension/post-36.html>)

■締切り 2022年10月17日(月)



お申込み QR コード

※当日、学内の駐車場はご利用いただけませんので、公共交通機関もしくは近隣の有料駐車場をご利用ください(近隣の駐車場情報は申込URLからご確認ください)。

■お問合せ先
山形大学エクステンションサービス推進本部
Tel : 023-628-4779
Mail : yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp